

令和7年度

「学校（自己）評価報告書」

岩見沢市立美園小学校

□ 学校の概要

推進校	岩見沢市立美園小学校							
校長名	尾 見 秀 樹				教職員数		41名	
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	合 計
学級数	2	2	2	2	2	2	4	16
児童数	43	48	49	63	56	54	19	332
住 所	〒068-0815 岩見沢市美園5条4丁目4番1号							
電 話	0126-23-1721							
F A X	0126-25-5065							
UR-L	<a href="http://iwa-misono.sblo.jp/">http://iwa-misono.sblo.jp/</a>							
e-mail	misonos@edu.hamanasu.com							

I 学校教育目標

- 学習する子
- 助け合う子
- やりぬく子
- たくましい子

II 中期及び単年度の具体的目標 (資料参照)

III 各種具体的な計画【学校経営プランニングシート】 (資料参照)

IV 各種評価結果と改善策 (資料参照)

V 学校関係者評価を受けての改善策等 (資料参照)

VI 資料 (資料参照)

## Ⅱ. 中期及び単年度の具体的目標

## Ⅱ 中期及び単年度の具体的目標

### 1 学校の教育目標

学習する子 助け合う子  
たくましい子 やりぬく子

### 2 学校経営の重点スローガン

「学び合い・支え合い・高め合い」

### 3 学校経営方針

本校の教育目標の達成を図るため、教育目標を「目指す子ども像」として具体的な姿に置き換え、各分掌ごとに「目指す子ども像」「見取る場面」を設定し、全教職員で方向性を共有した教育活動を組織的に展開する。

- (1) 「校務企画連絡会議」を中心とした組織的な学校運営とリーダー分散型の連携協働体制において各分掌が目的達成型の当事者意識を高め、目標の達成に迫る持続可能な組織を実現する。
- (2) 各分掌は経営の目的、教育目標の達成のため、年間を通した臨機応変な対応戦略であるOODA理論と小刻みなRG-PDCA(P-DCDCDC-A)サイクルを活用し独自性と創造性溢れるプランを企画し、改善を図る。

### 4 学校経営の重点

- (1) 授業改革「学びに向かう力を育む授業づくり」
- (2) 心の改革「包括的生徒指導(MLA)を取り入れた学校づくり」  
※MLA=マルチレベルアプローチ
- (3) 接続改革「家庭・地域・光陵中校区4校と連携した学校・地域づくり」

【数値目標】児童アンケート「学校に行くのは楽しい」と答える児童の割合  
肯定回答85%以上

### 5 目指す学校像

「誰もが行きたくなる学校」

子どもが自慢したくなる学校、保護者・地域・教職員が通わせたくなる学校

- ・ともに学び合い、支え合い、高め合おうとする学校風土の醸成
- ・確かな学力向上(わかる→できる)
- ・安心、安全、思いやりのある集団づくり  
(「挨拶」と「ありがとう」で笑顔をつくる)
- ・地域とともに歩む学校(学校に関する情報を積極的に発信)

### 6 目指す教職員像

- (1) 子どもたちや職員とよりよい関係づくり(ケアリング)を最優先できる教職員
  - ・子どもとともに学び合い、支え合い、高め合う
- (2) 教員の専門性を発揮し、日常授業の改善に努め、授業で勝負する教職員
  - ・MLAを理解し、児童自らが学びに向かう力を育む授業の構築
- (3) 家庭や地域との連携に努め、信頼される教職員
  - ・地域を学びのステージと捉え、多様な人材との積極的な関わり

## 7 目指す子ども像(教育目標の具現化)

(1) 担当部署・目指す子ども像・具体的な取組・見取る場面・数値目標

教育目標	目指す子ども像	具体的な取組	見取る場面	評価【数値目標】
学習する子 「学び合い」 【研修文化部】	①自分から学び合う子	○子ども、学年間でのラーニングマウンテンによる、学びの目的と目標の共有 ○協同学習(役割のある対話活動) ○目的をもった対話活動 ○視点がある振り返り	○日常の学習場面 ○視点のある振り返り(一単位時間ごと、単元ごと、行事ごと) ○児童アンケート	○全国学調平均値 100以上 ○NRT SS50以上 ○NRT 前年度比up ○単元テスト 1・2年90点以上 3・4年85点以上 5・6年80点以上 ○児童アンケート「授業がわかる」項目「4あてはまる」 80%以上
助け合う子 「支え合い」【生活部】	①ルールやマナーを意識して生活する子 ②お互いの良さを認め合う子	○ルールやマナーの強化週間の実施 ○児童会活動の充実 ○OMLA活動 ○異学年交流	○日常生活 ○いじめアンケート ○児童会活動・縦断り活動 ○係活動・当番活動	○教職員アンケート(助け合う子)項目「4あてはまる」、「3 ややあてはまる」 85%以上 ○児童アンケート「3」及び「4」 90%以上
たくましい子 「高め合い」【保健部】	①目標を立てて進んで運動する子 ②体のことを考えて自分の生活を整える子	○体育の授業改善 ○休み時間の活用 ○みそランの推進 ○体カテストの分析 ○健康タイム	○授業 ○休み時間 ○体育的行事 ○体カテストの結果 ○日常の健康観察 ○給食指導	○児童アンケート(たくましい子)項目「4あてはまる」、「3 ややあてはまる」 95%以上 ○体カテスト総合評価ABC 合計50%以上
やりぬく子 「高め合い」【教務部】	①自分の目標を立てられる子(目標) ②自分から進んでやり続ける子(実行) ③自分のよい所を認める子(振り返り)	○校務企画連絡会議の充実 ○学期や行事ごとの個人目標づくりと振り返りの徹底 ○他の分掌と連携したMLA活動の推進 ○全職員による共通した指導	○振り返りアンケート ○掲示物(めあて・振り返り) ○日常の子どもの様子 子(担任、学年、教科担任等)	○ふりかえり8か条学級満足度項目・平均8以上 ○児童アンケート(やりぬく子)項目「4あてはまる」 60%以上、「3 ややあてはまる」及び4 90%以上

(2) 具体的方策

### ○学習する子【研修部】

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、学びに向かう力を育む授業づくり
- ア 学習規律の育成に努める。(規律あつての授業ではなく、授業で規律を整える) ;
  - イ 協同学習を取り入れた授業
  - ウ 授業の見通しと振り返り
  - エ ICTの効果的な活用
  - オ 解き直し、学び直しによる低位層の底上げ

② 学力の定着・習慣

- ア 全国学力・学習状況調査や標準学力検査（NRT）、単元テストの結果分析を各学年で行い、学力定着・向上のためのプランを策定し、授業改善に生かす
- イ 放課後や家庭学習（長期休業中含む）課題の設定等、補充的な学習の機会の設定に努める
- ウ 統一性・一貫性のある校内研修の推進と活性化

③ 特別支援

- ア 特別支援コーディネーターを中心に児童一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

【評価項目】

目指す子ども像	教職員評価項目
①自分から学び合う子	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学びの目的(何のため)、目標(何ができるようになる)を子どもと共有したか。</li> <li>○ピア・サポートを意識した協同場面の場を設けたか。</li> <li>○個別最適な自己選択の場を設けたか。</li> <li>○視点がある振り返りができたか。</li> </ul>

○助け合う子【生活部】

① 支持的・親和的学校・学級の風土づくり（包括的生徒指導 MLA の活用）

- ア MLA（ピア・サポート、SEL、PBIS等）の理念を全教育活動に浸透し「よい個が育つ集団」を育てる
- イ 研修係と連携し、「道徳の時間」の指導方法の工夫改善を図り、「考え、議論する道徳」の実践に努める（外部講師の招聘）
- ウ 児童会を中心とした児童の主体的活動による「挨拶、ありがとう」の習慣化と「ハイタッチ運動」を推進し、安心、安全、思いやりのある集団を育てる。
- エ 教育相談「お話タイム」を計画的に実施し、「いつでもどこでも誰にでも」相談できる環境づくりに努める

② いじめ対応

- ア 「学校いじめ防止基本方針」に基づき、適切に対応する。
- イ 日常観察、いじめアンケートの実施など、「いじめの積極的認知」「いじめ見逃しゼロ」等、組織的に迅速な対応に努める
- ウ 岩見沢市教育支援センター等の各関係機関との連携を図った指導に当たる

【評価項目】

目指す子ども像	教職員評価項目
①ルールやマナーを意識して生活する子	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ルールやマナーを意識して指導したか</li> <li>○日常生活や係、当番活動等を通して子どもたちの様子を見取り、全職員で共有して指導に当たったか</li> </ul>
②お互いの良さを認め合う子	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が日常においてお互いの良さを受け止め合う場面が見られたか</li> <li>○児童会活動等を通してのあいさつ推進活動や学級指導をしたか</li> </ul>

## ○たくましい子【保体部】

### ① 体力向上

- ア 体育科の授業や体育的行事、日常の活動での運動量確保
  - ・外遊びの奨励
  - ・みそランの推進（体力向上週間の設定）
- イ 新体力テストの実施及び結果を分析し、児童の実態と課題を把握
  - ・持久力、瞬発力を高める取組をするとともに、1校1実践などを通して、継続的に体力や運動能力の向上に取り組む

### ② 教育大学との連携

- ア 教育大学等と連携し、運動に係る外部講師を活用した授業を展開する

### ③ 健康・安全教育

- ア 関係機関と連携を図り、食に関する正しい理解と望ましい食習慣の形成の指導など、健康安全教育の推進に当たる
- イ 生命・安全を第一にした防災教育の推進及び危機管理体制の充実に努める
- ウ 児童の実態に沿った健康タイムの推進

#### 【評価項目】

目指す子ども像	教職員評価項目
①目標を立てて 進んで運動する子	○児童が目標を立て、それを達成するために進んで運動する場面が見られたか。 ○体育の授業や体育的行事を通して、運動量の確保に努めていたか。
②体のことを考えて 自分の生活を整える子	○休み時間の運動遊びやみそランにおいて、運動を楽しめるよう、働きかけや環境づくりに努めていたか。 ○食や自分の体のことに関心が高まるように、食育や健康タイム、授業の実践に努めていたか。

## ○やりぬく子【教務部】

### ① 校務企画連絡会議の充実

- ア 各分掌が独自性と創造性溢れるプランを企画し、目標の達成に迫る持続可能な組織を実現し、各分掌との臨機応変な対応と調整を図る

### ② 目標設定とふりかえり

- ア 学期や行事ごとの個人目標づくりと振り返りの徹底

### ③ 特例時数制度の活用

- ア 本校の強みを伸ばし、弱みを改善するための効果的な教育課程を編成
- イ MLA を効果的に活用するための分掌横断的な連携と推進

#### 【評価項目】

目指す子ども像	教職員評価項目
①自分の目標を 立てられる子 (目標)	○自分の目標をたてられていたか。 ○毎学期、各行事ごと、支え合い、学び合い、高め合いを意識させめあてをつくり、児童による主体的活動の展開に努めたか。
②自分から進んで やり続ける子 (実行)	○児童が最後までやり続ける場面が見られたか。 ○毎週、MLA や道徳を実践し、子どもたちが満足する学級風土がつくれたか。
③自分のよい所を 認める子 (振り返り)	○子ども同士でよいところを認め合う場面が見られたか。 ○次の活動に意欲がもてる振り返りを行い、アンケートを効果的に活用し推進できたか。

○接続可能な環境づくり【管理職・主幹・教務・特別委】

① 情報発信

- ア 教職員評価アンケート、保護者アンケート、児童アンケート等、学校評価の実施や分析を通して課題の明確化及び学校改善と活性化を図る
- イ 学校だよりや美園小 CS ホームページ（毎週更新）を活用して、学校の教育活動等に係る情報発信を図る

② コミュニティ・エリア学校運営協議会

- ア 美園小学校学校運営協議会、光陵中学校区学校運営協議会との連携による教育活動の推進に努める

③ 小中接続

- ア 小中接続した3部会グループ構成による目的達成型の取組の試行  
 ※3部会：授業改革グループ・心の改革グループ・接続改革グループ  
 ※事務局校（担当：主幹）～R7美園、R8中央、R9光陵、R10南

④ 異校種連携

- ア 中央ブロック（小小連携や小中連携）、緑陵高校の授業視察や、教育大岩見沢校の教員や学生の派遣などを通して、異校種間の連携による教育活動の推進に努める

⑤ 働き方改革

- ア 働き方改革推進委員会をコアチームとし、働き方改革に係る教職員の意識変革と業務の見直し、改善を図る
- イ 定時退勤日の設定や校務支援システムによる出退勤時間の管理に当たる
- ウ 教員業務支援員（スクールサポートスタッフ）の配置により、業務の効率化を図る
- エ 学年内教科担任制、学年（チーム）担任制による教職員の持ち味（強み）をチーム力に変換する取組【評価項目】

【数値目標】

- 情報発信項目における教職員及び保護者アンケート平均3.5以上
- 学校運営協議会項目における教職員アンケート平均3.5以上

具体的取組	教職員評価項目
①情報発信	○学校の情報発信や学校に対する情報収集に努め、開かれた学校づくりに努めていたか。
②コミュニティ・エリア学校運営協議会	○美園小学校学校運営協議会や光陵中学校区学校運営協議会と連携を図り、教育活動の充実に努めていたか。
③小中連携	○小中接続3部会が、効果的活動であったか。 ○自校へ還元されていたか。
④異校種連携	○各部会が機能し、4校（小小や小中）の接続、及び異校種との連携による教育活動の推進に努めていたか。
⑤働き方改革	○学校における働き方改革の推進し、教職員の心身の健康に努め、教育の質の向上を図られていたか。

- 異校種連携項目における教職員アンケート平均3.5以上
- 働き方改革項目における教職員アンケート平均3.0以上
- 教職員の年休5日以上取得100%、15日以上80%以上
- 超過勤務を1か月45時間以内、1年間360時間以内

令和7年度 学校経営プランニングシート①

チェック【 】月末

岩見沢市立美園小学校

<b>重点課題</b>	確かな学力の育成	<b>目標</b>	① 「よい授業」(ねらいの達成、子どもの主体性)の継続的な実施に向けた授業改善を図る。 ② 各種調査結果の分析し児童の実態を客観的に把握するとともに、身に付けさせる力(知識・技能、思考力・判断力・表現力、自主的・自立的な学習態度)を明確にした指導に当たる。また、学習規律の徹底や家庭学習習慣の定着に努める。 ③ 特別支援教育において、「個別の教育支援計画」等に基づき、全教職員による指導の充実を図る。
-------------	----------	-----------	--

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学力向上	全国学力・学習状況調査 全国学力・学習状況調査の分析 標準学力検査(NRT)の実施 学習規律の定着 家庭学習の手引きの保護者説明	学校改善プランの作成 調査の分析結果及び取組の方向性の共有 「よい授業」の実践 理論研修 学校図書館活用、読み聞かせ	チャレンジテスト 長期休業時の学習機会の確保	結果公表 実践報告	学校改善プランの見直し 「よい授業」の実践		中間評価進捗状況 チャレンジテスト 研究授業	学校評価・教職員 学校評価・児童・保護者 公開研究会	評価結果の分析 改善の方向性の共有化 長期休業時の学習機会の確保		学校改善プランの評価 「よい授業」の実践 研修まとめ		学校図書館活用、読み聞かせ
	特別支援	個別の教育支援計画、個別の指導計画作成		小学校合同学習			個別の教育支援計画等の見直し	展示即売会			卒業を祝う会	個別の教育支援計画等の整理	

<b>重点課題</b>	豊かな心の育成	<b>目標</b>	① 道徳の時間を要とした道徳教育の質的な充実を図る。 ② 望ましい集団活動や体験活動を充実させ、望ましい人間関係を築く力を育成する。また、自主的・実践的な態度の育成、個性や能力の伸長、協力の精神の育成を図る。
-------------	---------	-----------	---

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道徳	年間指導計画の確認 道徳授業公開 道徳の時間の指導方法の工夫・改善			道徳研修①		道徳研修②		道徳授業公開			道徳研修③	
体験活動		運動会 児童会活動、集会活動	遠足			修学旅行 社会見学	学習発表会		児童会活動、集会活動			

令和7年度 学校経営プランニングシート②

チェック【 】月末

岩見沢市立美園小学校

<b>重点課題</b>	健やかな身体の育成	<b>目標</b>	① 児童の体力の実態を把握し、組織的、計画的、継続的な取組により、「運動が楽しい」という意識を高めたり、体力・運動能力を高めたりする。 ② 各関係機関との連携を図りながら、食育、健康安全教育、生命の尊重や自他の安全に配慮す能力の育成を図る。
-------------	-----------	-----------	---

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体力向上		調査趣旨及び実施方法の確認 水泳学習	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析	調査結果及び取組の方向性の共有	自校分析結果公表			道教委結果公表		スキー学習	
	一校実践				一校実践・持久力							
健康安全	交通安全指導 避難訓練	下校訓練			食育授業 避難訓練				食育授業		避難訓練	
	フッ化物洗口				フッ化物洗口							

<b>重点課題</b>	生徒指導の充実	<b>目標</b>	① 教育活動全体を通じて、自己指導能力の育成に組織的に取り組む。また、児童理解に努め、児童の抱える問題（いじめや不登校、トラブルなど）等の早期発見と組織的な素早い対応に努める。 ② いじめについては、いじめの根絶、思いやりの心の育成など、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、適切に対応する。
-------------	---------	-----------	--

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
いじめ	いじめ基本方針の再確認	いじめアンケート実施	いじめアンケート結果の分析及び対応					いじめアンケート実施	いじめアンケート結果の分析及び対応			
	いじめ基本方針の保護者説明	お話しタイム	ハイパーQ U研修会	いじめ根絶標語づくり			お話しタイム	岩見沢市仲間づくり「子ども会議」				お話しタイム
	かくれんぼう 「確認・連絡・報告」の実践				かくれんぼう 「確認・連絡・報告」の実践					かくれんぼう 「確認・連絡・報告」の実践		
生徒指導	生徒指導交流	生徒指導交流	生徒指導交流	生徒指導交流	生徒指導交流	生徒指導交流	生徒指導交流	生徒指導交流	生徒指導交流	生徒指導交流	生徒指導交流	生徒指導交流
	QU検査実施		ピアサポート研修会	ピアサポート実践	ピアサポート実践	ピアサポート実践	QU検査実施			ピアサポート実践		

<b>重点課題</b>	教職員の資質・能力の向上	<b>目標</b>	① 教育目標及び各重点目標の達成が図られるよう、協働体制のもと創意と活力に満ち学校経営に努めるとともに、組織体としての機能の向上を図る。 ② 「よい授業」の展開のため、教師の専門性や指導力の向上を目指した校内研修・自己研修の充実に努める。
-------------	--------------	-----------	--

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
資質・能力の向上	サービス規律の徹底	サービス規律の徹底	サービス規律の徹底	サービス規律の徹底	サービス規律の徹底	サービス規律の徹底	サービス規律の徹底	サービス規律の徹底	サービス規律の徹底	サービス規律の徹底	サービス規律の徹底	サービス規律の徹底
	「よい授業」の実践 理論研修 外部講師招聘・ピア GIGA構想、学習指導要領にかかる研修				「よい授業」の実践 低ブロック・高ブロック授業実践 外部講師招聘・指導主事 GIGA構想、学習指導要領にかかる研修				「よい授業」の実践 研究授業 外部講師招聘・指導主事 GIGA構想、学習指導要領にかかる研修 研修まとめと次年度の方向性			

<b>重点課題</b>	開かれた学校づくり	<b>目標</b>	① PTA、保護者との連携、小小連携や小中連携、異校種の連携による教育活動の推進に努める。 ② 中央ブロック4校（南小、中央小、美園小、光陵中）の小中接続事業を推進する。 ③ 美園小学校学校運営協議会、光陵中学校区学校運営協議会との連携による教育活動の推進に努める。 ④ 学校の情報発信や学校に対する情報収集に努め、開かれた学校づくりに努める。
-------------	-----------	-----------	---

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域との連携	4校交流研修会 光陵校区CA	教育大学連携	サツマイモ苗植え	光陵校区CA 美園小CS	教育大学連携	サツマイモ収穫	4校交流研修会	保護者アンケート実施	光陵校区CA 美園小CS		4校交流研修会 光陵校区CA	美園小CS
	美園小CS PTA総会、役員会	運動会	みその～ずタイム	地域学習～郷土資料館、給食センター等～	地域学習～警察署、消防署、美術館等～	学習発表会	みその～ずタイム	みその～ずタイム			みその～ずタイム	
情報発信	参観日懇談	運動会	参観日懇談	学校だより 学級通信	地域参観日	学習発表会	参観日懇談	参観日懇談	参観日懇談		参観日懇談	
	学校だより 学級通信				学校だより 学級通信				学校だより 学級通信			



### Ⅲ. 各種具体的な計画

#### 【学校経営プランニングシート】

## IV. 各種評価結果と改善策

### R7 学校評価アンケート(児童アンケート)6月と11月の比較(11月18日現在)

			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
学習する子	1. どのように学ぶか考えて 学習していますか	6月	51%	44%	4%	1%
		11月	57%	38%	4%	1%
	2. なかまと おしえ合ったり、きき合ったりして 学んでいますか	6月	65%	28%	6%	1%
		11月	73%	24%	2%	1%
	3. 国語の べんきょうは よくわかりますか	6月	59%	32%	8%	1%
	11月	60%	29%	8%	3%	
	4. 算数の べんきょうは よくわかりますか	6月	58%	29%	9%	4%
		11月	58%	33%	7%	2%
	5. (3~6年生)理科の べんきょうは よくわかりますか	6月	56%	34%	9%	1%
		11月	55%	34%	9%	2%
助けあう子	6. きまりを まもっていますか	6月	49%	45%	5%	0%
		11月	51%	43%	4%	2%
	7. ともだちの よいところを 見つけていますか	6月	61%	33%	4%	1%
		11月	65%	31%	4%	0%
	8. いじめは ゆるされ ないことだと 思いますか	6月	93%	4%	1%	2%
	11月	94%	4%	0%	1%	
	9. 学校は たのしいですか	6月	51%	30%	9%	9%
		11月	48%	37%	12%	3%

			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
たくましい子	10. めあてを きめて運動していますか	6月	48%	38%	9%	4%
		11月	50%	37%	10%	2%
	11. 早ね 早おき していますか	6月	31%	38%	17%	14%
		11月	31%	36%	20%	13%
	12. 朝ごはんを たべていますか	6月	77%	15%	4%	5%
		11月	80%	11%	4%	5%
やりぬく子	13. 自分のめあてや もくひょうをもって 学習や さまざまな かつどうに とりくんでいますか	6月	48%	45%	6%	1%
		11月	57%	38%	4%	1%
	14. さいごまで あきらめないで がんばっていますか	6月	63%	30%	5%	2%
		11月	61%	32%	4%	3%
	15. 自分の よいところを 見つけましたか	6月	43%	34%	11%	12%
		11月	42%	37%	11%	9%
	16. ピア・サポートで学んだことが、学校せいかつに いかされていると 思いますか	6月	61%	30%	7%	2%
		11月	60%	36%	4%	0%

6月と比較し上昇傾向

6月時点で60%以上

6月時点で  
10%以上の否定回答

10%以上の否定回答  
または回答児童の確認

## 児童アンケートの考察

### 「学習する子」について

6月と11月を比較し、「1, 学び方を考えて学習する」が51%から57%へ6%増加した。これは毎時「自分のめあてをきめて学習する」授業スタイルの定着の結果と見られ、「2, なかまと教え合い聞き合う学習」の65%から73%への8%の増加は、「グループ学習や共同学習の推進」の結果によると考えられる。

教員アンケートにおいても、「1, 学びの目的や目標を子どもと共有している」の「あてはまる」教員が10%、「2, 共同学習の場の設定」の「あてはまる」教員が9%増加しており、ともに今年度の校内研修テーマである、「学びに向かう力を育む」の達成に向け、計画的に授業改善を進めてきた結果と捉える。

「4, 算数の勉強」については、「あてはまらない、ややあてはまらない」といった否定的回答の児童が13%から9%に減少しているのは、この授業改善が機能していると考ええる。

「3, 国語の勉強」「5, 理科の勉強」においても、肯定的回答をした児童が90%程度で維持しており、算数以外の教科でも、研修内容を生かした授業改善が進んでいると考ええる。

### 「助けあう子」について

「6, きまりを まもっていますか」は、「あてはまらない」と回答した児童が2%いた。肯定的回答の数値も大きな変化は見られないが、全校的には落ち着いた学年が増えてきた。教員アンケートの「5, ルールやマナーの指導」に「あてはまる」と回答した教員が5%の上昇、「6, 全教員での指導」に「あてはまる」と回答した教員が8%上昇していることから、児童が「きまりを守る」ことを意識している結果と捉え、継続して指導していく。

「7, ともだちのよいところを見つけていますか」については、「あてはまる」と回答した児童が61%から4%上昇した。継続して指導している岩見沢型ピア・サポート (MLA) による親和的な学級づくりの結果と考える。

「8, いじめはゆるされないこと」の意識については、98%の児童が肯定的回答であるが、2%の否定回答があったことから、対象児童への聞き取りや啓発を継続し、100%を目指す。

「9, 学校はたのしい」については、「あてはまらない」と回答した児童が9%から3%に減少しているが、まだ否定的回答が15%あることから、対象児童の状況をQ-Uやアセス等の調査結果を活用して把握し、丁寧に対応することで、全ての児童が「学校は楽しい」と回答できる学校を目指す。

### 「たくましい子」について

「たくましい子」の3項目については、家庭での生活も大きく影響するため、学校の指導だけでなく、家庭への協力をお願いする内容もある。「10, めあてをきめて運動していますか」については88%が肯定的回答であり、学校の体育以外でも、めあてや目標を意識した運動ができていると思われる。「12, 朝ごはんを食べていますか」については、91%がほぼ「食べている」となり、家庭でも健康を意識して朝食を食べていることが伺える。

しかし、「11, 早ね早おきしていますか」に至っては33%が否定的回答となった。日常の児童の会話からも、遅くまで起きている子が多いと想定されたが、これにより明確となった。今後は、この結果を踏まえ、生活指導及び保護者への啓発等を進めていく。

### 「やりぬく子」について

「13, 自分のめあてや目標をもって取り組む」は、「あてはまる」と回答した児童が48%から57%に増加した。肯定的回答も95%ある。教員アンケートにおいても「児童は自分の目標をたてられていたか」と「毎学期、各行事ごと、めあてをつくり主体的活動の展開に努めたか」に「あてはまる」と回答した教員が20%程度増加していることから、年間を通したMLAの取組や、教師の意識的な指導が成果に繋がっていると考えられる。

「14, 最後まであきらめないで がんばっている」については、93%の児童が肯定的に回答していることから、「13, めあてや目標をもって取り組む」指導がゴールを明確にさせ、最後までやりきろうという意識が高まったと考えられる。

「15, 自分の良いところを見つけたか」については、20%の児童が否定的回答である。しかし、教員アンケートの「子ども同士でよいところを認め合う場面が見られたか」では、100%の教員が肯定的に回答した。この差は、自己肯定感を高める活動や場面において、「友だちの良いところ」を見つけることはできるが、自分自身については深く考えられていないことがわかる。今後は活動の場面で「言語化や可視化」することで、子どもが「自分事」として捉え、自分の良さに気づくことができるような活動を意識的に取り入れていく。また、「お話しタイム」等も活用し、児童に良いところを直接伝えていく。

「16, ピア・サポートで学んだことが、学校生活に生かされている」は96%の児童が肯定的であった。毎週のMスタや、毎学期、月、行事ごとの取組を含め、計画的に実施してきたMLAの取組が児童にも実感に伴うほど浸透してきたと捉え、継続していく。

R7 学校評価アンケート(保護者アンケート)11月(11月18日現在)

			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない
学習する子	1. 「仲間と教えあったり、聞きあったりする授業」は感じ取れましたか	全校	40%	44%	5%	1%	10%
		1年	34%	49%	3%	0%	14%
		2年	48%	42%	3%	0%	6%
		3年	64%	30%	0%	0%	6%
		4年	33%	53%	10%	0%	5%
		5年	39%	42%	5%	3%	11%
		6年	26%	44%	8%	5%	18%
	2. 教科担任制は、お子さんの学力や安心感の向上に有効だと思いますか	全校	39%	42%	4%	1%	14%
		1年	34%	40%	9%	0%	17%
		2年	42%	39%	0%	3%	15%
		3年	48%	39%	3%	0%	9%
		4年	43%	38%	0%	3%	18%
		5年	39%	45%	3%	0%	13%
		6年	26%	51%	10%	3%	10%
助けあう子	3. 元気なあいさつやありがとうが言えると思いますか	全校	29%	50%	16%	4%	1%
		1年	17%	51%	17%	14%	0%
		2年	36%	58%	6%	0%	0%
		3年	33%	48%	15%	0%	3%
		4年	15%	58%	25%	3%	0%
		5年	47%	45%	5%	0%	3%
		6年	28%	41%	23%	5%	3%
	4. お子さんは、学校が楽しいと言っていますか	全校	38%	40%	16%	2%	4%
		1年	46%	37%	11%	3%	3%
		2年	61%	24%	9%	3%	3%
		3年	33%	42%	18%	0%	6%
		4年	35%	43%	18%	3%	3%
		5年	37%	42%	13%	3%	5%
		6年	18%	51%	26%	3%	3%
5. お話しタイムや日常生活を通じ、子ども達とより良い関係づくりに努めている	全校	58%	35%	2%	1%	4%	
	1年	43%	51%	3%	0%	3%	
	2年	70%	24%	0%	0%	6%	
	3年	64%	33%	0%	0%	3%	
	4年	58%	30%	3%	5%	5%	
	5年	66%	26%	3%	0%	5%	
	6年	49%	44%	5%	0%	3%	
たくましい子	6. 早寝早起きなど生活時間について、お子さんと話していますか。	全校	52%	44%	2%	2%	0%
		1年	60%	37%	0%	3%	0%
		2年	58%	39%	0%	3%	0%
		3年	42%	48%	9%	0%	0%
		4年	58%	40%	0%	3%	0%
		5年	50%	50%	0%	0%	0%
		6年	44%	51%	3%	3%	0%
	7. 食事の大切さについて、お子さんと話していますか。	全校	47%	44%	7%	1%	0%
		1年	37%	51%	9%	3%	0%
		2年	58%	30%	9%	0%	3%
		3年	39%	48%	12%	0%	0%
		4年	53%	43%	3%	3%	0%
		5年	71%	26%	0%	3%	0%
		6年	26%	62%	13%	0%	0%

			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない
やりぬく子	8. お子さんは、「自分には良いところがある」と感じていますか。	全校	33%	50%	8%	1%	8%
		1年	26%	49%	9%	0%	17%
		2年	48%	36%	9%	3%	3%
		3年	39%	52%	3%	0%	6%
		4年	33%	60%	3%	0%	5%
		5年	34%	45%	11%	3%	8%
		6年	23%	54%	13%	0%	10%
	9. 「共に学び合い・高め合い・高め合う学校風土」が感じられますか。	全校	31%	52%	4%	0%	13%
		1年	29%	51%	6%	0%	14%
		2年	30%	64%	0%	0%	6%
		3年	36%	52%	3%	0%	9%
		4年	38%	48%	0%	3%	13%
		5年	26%	47%	5%	0%	21%
		6年	26%	51%	10%	0%	13%
	10. ビデオ・サポート(MLA)に取り組んでいることを知っていますか。	全校	69%	15%	5%	1%	10%
		1年	74%	9%	0%	3%	14%
		2年	67%	18%	6%	3%	6%
		3年	85%	9%	3%	0%	3%
		4年	75%	13%	10%	0%	3%
		5年	66%	16%	8%	0%	11%
		6年	49%	26%	3%	0%	23%
	11. 学校便りやホームページで必要な情報を提供していると思いますか。	全校	54%	39%	3%	0%	4%
		1年	54%	37%	9%	0%	0%
		2年	55%	45%	0%	0%	0%
3年		45%	48%	0%	0%	6%	
4年		65%	30%	3%	0%	3%	
5年		55%	34%	0%	0%	11%	
6年		49%	41%	5%	3%	3%	
12. 保護者や地域と連携した教育活動を進めていると思いますか。	全校	45%	43%	3%	0%	8%	
	1年	46%	37%	3%	0%	14%	
	2年	39%	52%	3%	0%	6%	
	3年	52%	45%	0%	0%	3%	
	4年	58%	33%	3%	0%	8%	
	5年	37%	47%	3%	0%	13%	
	6年	38%	46%	8%	3%	5%	
13. 美園小学校は、「子どもを通わせたくなる学校」だと思いますか。	全校	30%	54%	6%	2%	8%	
	1年	26%	60%	0%	3%	11%	
	2年	39%	48%	0%	3%	9%	
	3年	36%	55%	6%	3%	0%	
	4年	30%	53%	5%	5%	8%	
	5年	21%	58%	8%	0%	13%	
	6年	28%	49%	18%	0%	5%	

あてはまる 60%以上

10%以上の否定回答や「わからない」

## 保護者アンケートの考察

### 「学習する子」について

「学習する子」については、児童の声や参観日の様子などから保護者は判断していると考えられる。「1, 仲間と教えあったり、聞きあったりする授業」の取組については、昨年度の評価において、学校の取組が保護者に伝わっていないことがわかった。その反省を踏まえ、今年度は学校便り等で周知した他、授業参観では意図的にグループ学習や共同学習を公開するとともに、参観日ごとにアンケートを実施するなど周知に努めてきた。結果は84%が肯定的回答となり、保護者にも伝わったことがわかる。

「2, 教科担任制は有効だと思いますか」については、肯定的回答が81%あるが、否定的回答も5%あることから、授業参観や懇談、通信等で教科担任制導入の目的を周知していく。

### 「助けあう子」について

「助けあう子」の項目については、児童の日常生活や会話の中から保護者が感じ取って判断していると考えられる。「3, 元気なあいさつや ありがとうが言えるか」は否定的な回答が20%あることから、学校では「あいさつ運動」や生活指導の中で継続指導していく。

「4, お子さんは、学校が楽しいと言っていますか」は、「わからない」を含めると否定的回答が22%となる。児童アンケート同様、85%以上の肯定的回答となるよう、Q-Uやアセスの結果を活用し、親和的で楽しい学校風土を醸成するよう意図的な指導に努める。

教員と児童の関係づくりについては、昨年度評価において「わからない」と回答した保護者が8%いた。そこで、広島大学の栗原名誉教授のアドバイスを受け、毎学期の「お話しタイム」を設けることとなった。

「5, お話しタイムや日常生活を通じ、子ども達とより良い関係づくりに努めている」では93%が肯定的回答となった。

### 「たくましい子」について

「たくましい子」の項目は、家庭生活での保護者の関わりについて質問した。「6, 早寝早起きなど生活時間について」と「7, 食事の大切さについて」は、ともに90%以上と高い肯定回答であった。これは、PTA総会において会長より「早寝・早起き・朝ご飯」の推進を提案したり、道教委発行の「生活リズムを整える」リーフレットを配布したりするなど、啓発活動が成果となったと考える。しかし、児童アンケート結果からは、33%が「早寝早起きに課題がある」という結果となっており整合していない。児童の実態を伝えるとともに、学校からも資料配付など啓発を図り、継続して改善を促す。

### 「やりぬく子」について

「8, お子さんは、自分には良いところがあると感じていますか」との問いに、17%が否定的あるいは「わからない」と回答した。児童アンケート結果でも同様の数値であった。MLAの取組や「お話しタイム」等を活用し、まずは子ども自身が「自分には良いところがある」と思うことができるよう取組を継続する。

「9, 共に学び合い・支え合い・高め合おうとする学校風土」は、今年度の学校スローガンであり、さまざまな場面で保護者・児童には伝えてきた。結果として83%が肯定的回答であり、学校の取組が保護者にも伝わっていると捉えることができる。

「10, ピア・サポート (MLA) に取り組んでいる」については、昨年より学校全体で取り組みだったが、R6年度アンケート結果からは「あてはまる」が20%、「わからない」が16%と、反省点が多かった。そこで、毎週のカリキュラムに編入し、保護者への周知を徹底したり、学期に一回、「親学」として、児童が体験しているピア・サポートプログラムを保護者や地域住民に体験していただく講座を設けたりするなどの策を講じ、今年度のアンケートでは69%が「あてはまる」と回答するまで浸透した。

「11, 学校便りやホームページで必要な情報を提供」については、93%が肯定的回答となった。今年度はホームページの更新をこまめに行い、子ども達の活動の様子を多く伝える内容を意識して記事をアップした。今年度は12月4日現在で、117件の記事をアップしており、今後も必要な情報を伝えることができるよう努める。

「12, 保護者や地域と連携した教育活動」は、89%が肯定的回答となり、PTAや育成会が中心となり、保護者・地域人材が多くかかわって子ども達を育てている状況が見られる。今後も「地域とともに歩む学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を継続していく。

「13, 美園小学校は「子どもを通わせたい学校」だと思いますか」の問いの肯定的回答は84%であった。児童アンケートの「学校は楽しいところか」の問いと同様に、肯定的回答85%以上を目指しつつ、学校の取組に対する理解を促していく。

# 令和7年度 学校関係者評価 評価シート

中央ブロック学校運営連絡協議会

岩見沢市立美園小学校

実施日： 12月5日（金）

◇学校からの説明を聞いてから評価してください。

1 学校の自己評価に対する評価 ※○を記入してください。

評価項目	A	B	C
自己評価の妥当性	8		
取組の適切さ	8		

2 評価理由と改善意見等

<ul style="list-style-type: none"><li>適切な評価がなされていると感じられた。</li><li>昨年度や前期よりも、直近のアンケートの数値が向上しているのので、取組の成果がうかがえます。</li><li>教室の席を授業の内容や目的によって柔軟に対応して良かったです。</li><li>教育目標を全校で統一して色分けしているのも誰でも分かりやすいと思いました。</li><li>保護者の声を取り入れる姿が見られ、保護者も学校の様子が分かり、安心してお子さんを預けられる学校になっていると感じました。</li><li>掲示物の統一など、組織的に改革しようとする姿勢が伝わってきた。</li></ul>
--

3 自己評価点検票 ※○を記入してください。

No.	点検項目	A	B	C
①	評価項目の内容や項目数は、適切であるか。	8		
②	評価の時期や方法は、適切であるか。	7	1	
③	評価結果の集計や分析の仕方、情報公開等が適切に行われているか。	8		
④	学校の教育活動を通じて、児童生徒や学校の変容を感じる事ができる評価になっているか。	7	1	
⑤	学校評価が、組織的・継続的な改善を図ることにつながるものになっているか。	8		
⑥	児童・教職員のあいさつはされているか。	7	1	

4 その他特記事項

<ul style="list-style-type: none"><li>「目指す子ども像」の設定から先生方が関わり、当事者意識を持って積極的に取り組んでいることがよく分かりました。</li><li>評価のみならず、次年度に繋がる取組になっていることが素晴らしいと思いました。</li><li>授業の流れが配分（マニュアル化）されていて、生徒だけで話し合う時間、みんなの顔が見やすい机の配置など、おもしろいと感じました。</li><li>教員の学び、反省など常に考える仕組みは素晴らしいと思いますが、負担も大きいのかなと思います。</li><li>ピア・サポートの取組の成果なのか、児童はじめ、学校全体が明るく元気になったと感じられた。これからもより良い学校になってほしいです。</li><li>一点気になったのは、R5→R6の「国語・算数の勉強は好き」「自分にはよいところがある」の落ち込みがみられたが、R7に取り組んだ結果、どう改善されたのか知りたい。</li></ul>
---

## V. 学校関係者評価を受けての改善策等

## VI. 資 料

# MISONO



第 3 号

### 学校教育目標

- 学習する子
- 助け合う子
- やりぬく子
- たくましい子

～学び合い・支え合い・高め合い～

令和7年5月23日 文責 尾見 秀樹

## 運動会テーマ「全力！キラキラ！笑顔！～勝利に向かってつき進め！～！」

校長 尾見 秀樹

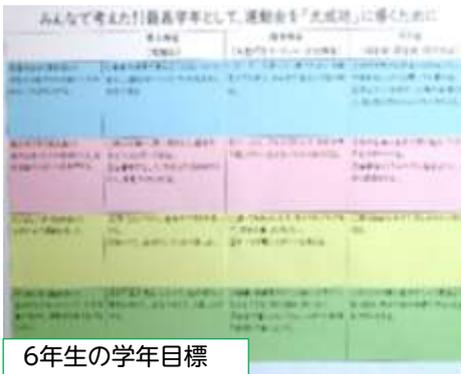
最高気温が20度を超える日も増え、さわやかな風が感じられる季節となりました。

いよいよ今週末に本校運動会を開催します。本校の学校経営重点スローガンは、「学び合い・支え合い・高め合い」です。また、本校の目指す子ども像に、「自分の目標を立てられる子」とあります。学年ごとに方法は異なりますが、子ども自身が練習や本番の目標を立てています。目標達成に向けて学び合い・支え合い・高め合っている姿を至るところで見かけます。運動会終了後には、個人や学級で「ふりかえり」をすることで、どこが成長したのか、どこを改善していくのかなど、今後の学校生活に生かしながら成長していけるように指導していきます。

4年生の個人目標

今年の運動会テーマは「全力！キラキラ！笑顔！～勝利に向かってつき進め！～」です。勝利を目指すことは運動会の大切な目標ですが、競技をしている子、応援する子、係の仕事がんばる子それぞれの役割の中で、自分の力を精一杯発揮している子どもたちの姿をぜひ応援していただきますようお願いいたします。

今年度、リレーを復活させました。みんなで力いっぱい、笑顔いっぱいグラウンドを駆けぬけますので、お楽しみに。



6年生の学年目標



### 運動会にかかわるお願い

- ・今年度より、市内複数校の取組を参考にし、PTA役員と相談した上で指定マス席を廃止して、観覧立ち見エリアと待機エリアを設定しました。他の観客と譲り合いながら皆さんが気持ちよくご観覧いただけますよう、ご協力をお願いします。待機エリアの利用スペースは最小限にさせていただき、事前の場所取りはご遠慮ください。
- ・グラウンド内は禁煙、ペット不可、テントやパラソルの持ち込みは禁止です。
- ・保護者の利用できるトイレは、高学年棟の1階・2階となります。校舎への出入りは高学年玄関をご利用ください。
- ・保護者のグラウンドへの出入りは、ゴール付近のみとなります。
- ・身体の不自由な方、高齢者の方のために思いやりシートを本部横に設けています。
- ・徒競走や全校種目、リレーの時は、コースの近くまで観覧立ち見スペースを拡張します。会場アナウンスで指示をしますので、ご確認ください。

### グラウンド整地作業

5月12日（月）の早朝から、玉田産業様が、冬期間駐車場として使用したグラウンドの荒れた箇所を中心に、整地してくれました。重機を使って整地したあとに、仕上げはトンボやブラシを使っての手作業でとてもきれいになりました。

徒競走のゴール付近が整地され、子どもたちも安心して走れそうです。

お忙しい中作業していただきありがとうございます。ありがとうございました。



# いじめの未然防止 「いじめ」を許さない学校・学級づくり

学校では、いじめは許される行為ではないこと、「学び合い・支え合い・高め合い」をスロガンに掲げ、子どもたちに『自慢したくなる学校』をつくっていきこうと話しています。

今後も「いじめは絶対に許されないもの」として、いじめをしない、させない、許さない学校づくり、学級づくりを進めていきます。子どもの観察に加え、いじめ調査を実施するなどして、子どもの様子の把握に努め、早期対応に努めていきます。

また、今年度から、いじめアンケートを年3回（5月と10月と2月）に増やしました。

更に、教育相談週間『おはなしタイム』を設けて、担任が全児童一人一人からじっくり話を聴き、子どもの気持ちを理解したり、寄り添ったりすることで「いつでも・どこでも・誰にでも相談できる環境づくり」に努めています。

お子さんのことで気になることがありましたら、学校、担任まで連絡をお願いします。

## 【「美園小学校いじめ防止基本方針」（部分抜粋）】

※いじめ防止基本方針はCS ホームページに掲載していますので、ご確認ください。

いじめは、「どの学校でも、どの子にも起こり得る」という事実を踏まえ、学校における教育活動全体を通して、自己有用感や規範意識を高め、豊かな人間性や社会性を育てる。

### 1 いじめを許さない、見過ごさない風土づくりに努める。

#### ① 心の教育の充実

- ・思いやりや生命・人権を大切にする指導の充実
- ・いじめを許さない心情を深める道徳授業と人権教育の実践

#### ② 友達関係づくり

- ・学級経営、学級活動の充実
- ・子ども一人一人のよさが発揮され、互いを認め合う学級風土づくり（教師の受容的、共感的態度）、規律と活気ある学級集団づくり、ルールや規範の遵守、生徒理解、学級経営力の向上（ピア・サポート、Q-Uテストの実施と活用）
- ・けんかななどの交友関係から生じたトラブルやいじめの問題を解決し、人間関係を修復していく力を身に付けさせる指導を図る。（いじめを受けた児童にも、何らかの原因がある、責任があるという考え方はしない。）

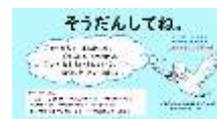
### 2 子ども一人一人の自己有用感を高め、自尊感情を育む教育活動を推進する。

#### ① 子ども一人一人が活躍できる学習活動

- ・子どもが主体的に取り組む「楽しい授業」、「わかる授業」を通じた学び合い
- ・子どもの自発的な活動を支える児童会活動の充実

#### ② 安心して自分を表現できる授業の実践

- ・自己決定、自己存在感、共感的人間関係のある授業づくり
- ・「間違いを恐れず安心して発表できる」授業づくり
- ・友達との意見の違いを、認められる中で育つ自尊感情の伸長



このカードを全児童に配っています

「いじめ見逃しゼロ」にするため、美園小では様々な方策を講じています。その一つとして、困った時に自分から（周りからも）SOSを発信できる環境を整えています。

北海道子ども相談支援センターでは、24時間に対応する無料の電話相談などを行っています。保護者からの相談も可能です。

### 24時間子供SOSダイヤル(無料)

TEL 0120-0-78310

相談時間: 毎日 24時間

### 空知教育局教育相談電話

TEL 0126-22-3912

相談時間: 月～金 8:45～17:30

おなやみポストはこちらから

- ・小中学校、高校・特別支援学校
- ・学校のある管内（●●●●●管内）
- ・市町村名 ・学年 ・氏名
- ・学校に伝えたいこと ・学校にしてほしいことを入力すると、学校や教育委員会に届きます。

児童用タブレットにショートカットを作っています



# MISONO



第 4 号

### 学校教育目標

- 学習する子
- 助け合う子
- やりぬく子
- たくましい子

～学び合い・支え合い・高め合い～

令和7年6月25日 文責 尾見 秀樹

## 「学び合い・支え合い・高め合い」

校長 尾見 秀樹

5月24日(土)、ちょうど良い気温と天候の中、美園小学校運動会を実施することができました。保護者、地域の皆様には、ご来校いただき、子どもたちの頑張りに声援をいただきありがとうございました。また、PTA役員、PTA会員の皆様には、誘導のお手伝いや運動会後の後片付けなど、ご協力をいただき、重ねてお礼申し上げます。

本校では「学び合い・支え合い・高め合い」を学校経営の重点スローガンとして掲げ、日常の教育活動はもとより、各種行事においてもこの理念を踏まえ、目指す子ども像の実現に向けた指導を行っています。

運動会では、子どもたちが目標に向かって協力しながら取り組む様子から、「学び合い・高め合い」の姿勢が感じられたでしょうか。また、応援する様子や、高学年が下級生を支える姿からは、「支え合い」の心が伝わってきたでしょうか。全校種目での協力や係活動、応援など、「学び合い・支え合い・高め合い」を体現したその活躍に、すべての子どもたちに心から拍手を送りたいと思います。

今年度から「観覧立ち見エリア」と「待機エリア」を設定させていただきましたが、大きな混乱もなく運動会を終えることができました。ご協力ありがとうございました。運動会後のアンケートでも、観覧方法について多くの方から「良かった」とのご意見をいただいております。来年度は、皆様の声を参考に、さらに改善を図ってまいります。

### 運動会の保護者アンケート

アンケートのご協力ありがとうございました。

#### 【学び合い】

お子さんが、目標達成に向けて進んで運動会に参加し、満足している姿が見られましたか。

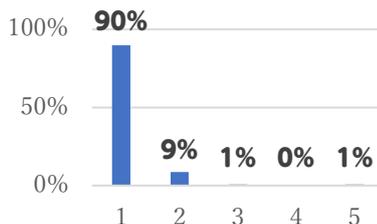
#### 【支え合い】

お子さんが大きな声で応援したり、係りの仕事を頑張ったりするなど、友達のために頑張る姿が見られましたか。

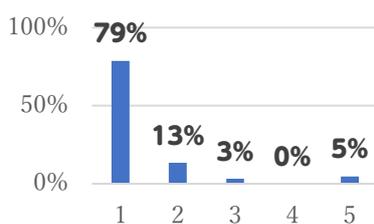
#### 【高め合い】

お子さんが、練習した成果を精いっぱい出し切る姿が見られましたか。

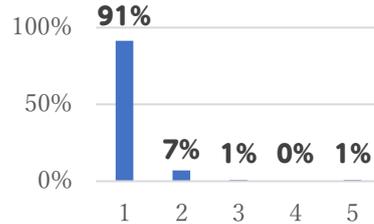
#### 学び合い



#### 支え合い



#### 高め合い



1 見られた    2 少し見られた    3 あまり見られなかった    4 見られなかった    5 わからない

## いじめの根絶に向けて

学校では「いじめを許さない」「いじめを早期に発見して解決する」として、今年度の1回目となる「いじめアンケート(児童)」を5月下旬に実施しました。

アンケート内容の一部をまとめたものが下の表です。

※「はい」と答えた児童の割合 ※1年生については①のみ聞き取りを行いました。

アンケート項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校平均
①今年の4月から今日まで、嫌な思いをしたことがありますか。	26%	42%	50%	34%	39%	15%	34%
②嫌な思いをした時、誰に相談しますか。「誰にも相談しない」と回答した児童		10%	0%	9%	11%	2%	6%
③今年の4月から今日まで、友人が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。		60%	50%	25%	37%	25%	38%
④学校から配られる「子ども相談支援センター電話相談紹介カード」を知っていますか。		93%	81%	89%	96%	97%	91%
⑤「いじめ」はどんな理由があっても許されないことだと思いますか。		93%	87%	92%	98%	92%	93%

- ・②「誰にも相談しない」と回答した児童が1割を切りました。教育相談はもとより、日常から子どもたちのコミュニケーションを大切に、困った時や悩んでいる時に「いつでも・どこでも・だれにでも安心して相談できる教育環境」を整えてきた成果だと思います。今後も子どもたちの気持ちに寄り添う指導を続けていきます。
- ・⑤「『いじめ』はどんな理由があっても許されないことだと思いますか」については、数人の児童が「そうは思わない」「わからない」と答えています。引き続き「いじめは、どんな理由があっても絶対に許されないことであること」を、学級活動や道徳をはじめ、様々な場面で指導していきます。

## 標準学力検査(NRT)の結果について

4月に、2～6年生が、標準学力検査(NRT)を実施しました。この検査は、学習指導要領に準拠し、学習の内容がどの程度身に付いているかを全国基準に照らして客観的に把握するためのものです。国語と算数で実施しています。

4月に実施することから、各学年とも前年度の学習内容で検査しています。昨年度の学習の様子を振り返り、これからの指導に生かしていきます。個人の結果につきましては、保護者面談時に配付しました。

今後の学習の参考資料としてご活用ください。

### ◇令和7年度の標準学力検査(NRT)の偏差値結果

	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	学校全体
国語	47.6	47.7 (45.1)	47.0 (48.7)	47.3 (45.5)	45.3 (49.1)	46.9 (47.7)
算数	49.1	47.3 (46.2)	49.4 (48.2)	47.9 (47.7)	43.9 (45.5)	47.6 (47.1)
教科全体	48.3	47.5 (45.6)	48.2 (48.4)	47.6 (46.6)	44.6 (47.3)	47.3 (47.4)

※偏差値とは・・・  
得点分布の中で児童がどれくらいの位置にいるかを数値で表したものです。  
全体の平均と同じ場合、「偏差値50」となります。

( )内は昨年度の偏差値になります。  
【例】3年生が2年生だった時の偏差値になります。

# MISONO



第 6 号

### 学校教育目標

- 学習する子
- 助け合う子
- やりぬく子
- たくましい子

～学び合い・支え合い・高め合い～

令和7年8月25日 文責 尾見 秀樹

## 2学期に向けて

校長 尾見 秀樹

夏休みも終わり、子どもたちの元気な笑顔とともに2学期が始まりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、休み期間中の教育活動にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

夏休みは、普段の学校生活ではなかなかできない経験をする貴重な時間だったことと思います。旅行や帰省、読書、スポーツ、地域行事などを通じて、一人ひとりが新たな学びや発見を得てくれたことと期待しています。

2学期は、学習面・生活面ともに大きく成長する時期です。修学旅行、社会見学、学習発表会など、さまざまな行事が予定されており、子どもたちが自らの力を発揮する絶好の機会でもあります。一つひとつの活動を通して、自信や達成感、協力する大切さを学び、仲間との絆を深められるよう支援してまいります。

本校では、「学び合い・支え合い・高め合い」の実現に向け、教職員一同一丸となって、子どもたちの成長を育んでいきたいと思っております。保護者の皆様、地域の皆様には引き続き本校教育の推進にご協力とご支援を心よりよろしくお願いいたします。

## 全国学力・学習状況調査の結果

4月17日(木)に小学校6年生を対象に実施し全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本校の結果をお知らせします。

### 各教科の平均正答率の全国との比較

〔平均正答率の比較〕

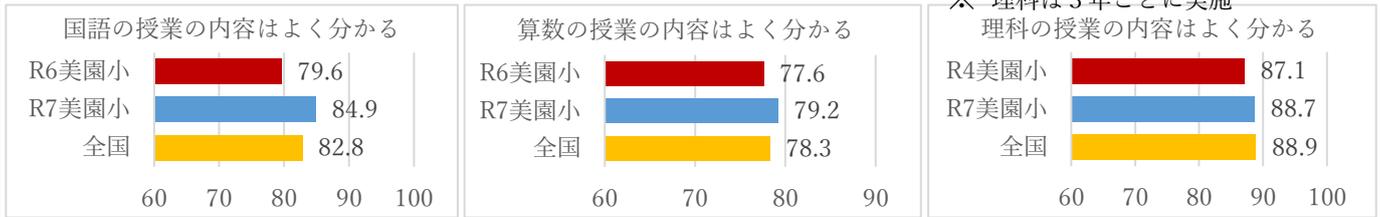
〔教科結果の全国比(全国を100とした場合)〕

	国語	算数	理科		国語	算数	理科
美園小	59.0	48.0	48.0	美園小	88.3	82.8	84.1
岩見沢市	63.0	55.0	54.0	岩見沢市	94.3	94.8	94.6
北海道	65.0	55.0	56.0	北海道	97.3	94.8	98.1
全国	66.8	58.0	57.1	全国	100.0	100.0	100.0
全国との差	<b>-7.8</b>	<b>-10.0</b>	<b>-9.1</b>	全国との差	-11.7	-17.2	-15.9

全国比で比較すると、国語で-11.7ポイント、算数で-17.2ポイント、理科で-15.9ポイントと下回り、未定着層の割合が高いことが課題です。今後は、学年をさかのぼって未定着部分を復習し、基礎学力の定着を図っていきます。

## 児童質問紙からの国語、算数、理科の状況

※ 理科は3年ごとに実施



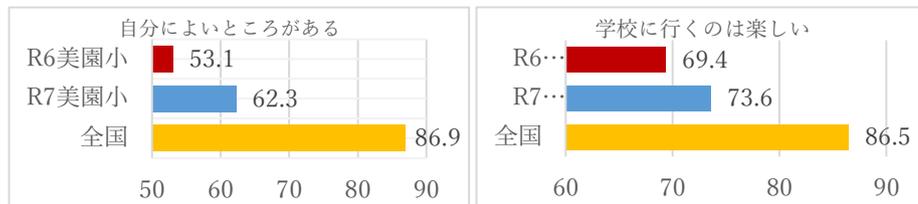
### 〈分析〉

・調査結果をみると、自分自身や他者からの肯定的な評価の機会を増やしたことで、自己評価は高まってきました。しかし、「分かる→できる」に繋がっておらず、結果に結び付いていない状況にあります。また、3・4年生の学習内容でのつまずきも見られたため、低学年からの着実な基礎学力の積み重ねに課題があることが伺えます。

### 〈今後の対策〉

・毎時間の授業の冒頭で、短時間の基礎トレーニングを継続することで、基礎学力の定着を図ります。  
 ・授業展開では、その時間に身に付けることを明確にし、身に付けることが確実に定着しているかを振り返る場を設定することで、一人一人に自己調整力がつくようにしていきます。

## 子どもの様子



### 〈分析〉

・自己の成長を振り返り、他者からの肯定的な評価を受ける機会を増やしたことで、昨年度より改善が見られます。しかし、依然として全国と比べて低い結果となっています。

### 〈今後の対策〉

今後は、自分自身の成長を実感できるよう、本校が推進しているMLA（マルチレベルアプローチ）の取組を更に充実させます。日常の学習活動はもとより、学級活動や行事、諸活動の際に、目標を立て、確実に振りかえりを行って自分や他者の成長を認め合う機会を設定していきます。また、ピア・サポートを通じて、仲間と支え合える安心・安全な学校風土をつくっていきます。

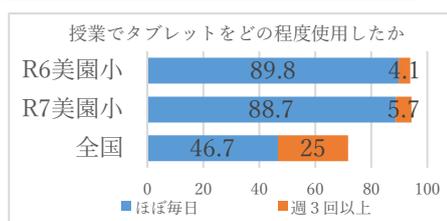
## 家庭学習の定着



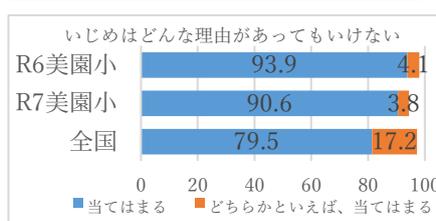
### 〈分析と今後の対策〉

改善が見られますが、依然として家庭学習の定着率が低い結果です。「学びたい」と思えるように学ぶ意義を実感し、自分に合った家庭学習を継続できるように働きかけていきます。  
 家庭学習強化週間の取組や保護者と連携した指導を継続し、習慣化を図っていきます。

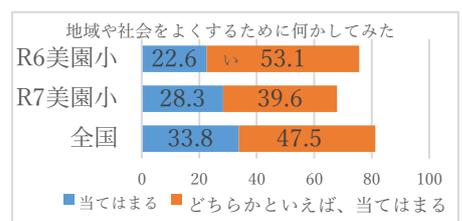
## タブレット端末の活用



## いじめについての認識



## 地域や社会への関心



### 〈分析と今後の対策〉

全国を大きく上回っています。授業のねらいを達成できるように効果的に活用していきます。

### 〈分析と今後の対策〉

いじめに対する意識が高い結果です。今後もいじめは絶対に許さないという姿勢で指導を徹底します。

### 〈分析と今後の対策〉

地域や社会への関心が低い結果です。地域と連携した活動のねらいを明確にし意識を高めていきます。

岩見沢市立美園小学校 学校便り

# MISONO



学校教育目標

- 学習する子
- 助け合う子
- やりぬく子
- たくましい子

第 7 号

～学び合い・支え合い・高め合い～

令和7年9月25日 文責 尾見 秀樹

## 学習発表会

校長 尾見 秀樹

日中の最高気温が20℃前後と、涼しさを感じる季節になってまいりました。いよいよ秋の訪れを実感するこの頃です。

学校では、6年生が9月9日(火)・10日(水)の両日、修学旅行を無事に終えることができました。また、3年生から5年生の「バスでGO!」(見学旅行)も、予定どおり実施され、充実した学びの機会となりました。

さて、子どもたちの学びの成果を発表する「学習発表会」が近づいてきました。今年度も、各学年でこれまでの学習や体験をもとに、工夫を凝らした発表の準備が進んでいます。友だちと一緒に考え、試行錯誤しながらつくり上げていく過程そのものが、まさに「主体的・対話的で深い学び」です。

10月18日(土)の本番に向けて、これからさらに準備が本格化します。子どもたちの主体性を大切にしながら、私たち教職員はその過程をしっかりと支えていきます。

本校では、「学習する子・助け合う子・たくましい子・やりぬく子」という教育目標のもと、各行事のねらいと関連付けながら指導を行っています。

学習発表会では、次のことをねらいに設定しています。

やりぬく子～文化や芸術に親しむ中で、目標を立て、自主性や想像性を伸ばす場や機会とする。  
学習する子～自分の考えを持ち、自らその向上を目指す活動を行う。  
助け合う子～互いの良さを受け止め合い、協力する態度を育てる。  
たくましい子～進んで活動に取り組み、心身ともに充実した場や機会とする。

学習発表会は、子どもたちが自分の考えや思いを相手に伝え、聞き手と心を通わせる貴重な機会です。表現活動を通じて、自己肯定感や学びへの意欲も高まり、子どもたちのさらなる成長につながると思います。

学校行事は、実施すること自体が目的ではなく、あくまで子どもたちが力を伸ばすための「手段」です。この発表会を通じて、子ども一人ひとりにどのような力を育てたいのか、学級・学年という集団としてどのように成長していくのか、教育的な視点を大切にしています。そして、発表の成果をしっかりと振り返り、次につなげていくことこそが、最も重要だと考えています。

子どもたちと教職員がともに創り上げていく本校の学習発表会を、どうか温かく見守り、ご理解・ご協力をいただけますよう、よろしく願いいたします。

～新しい取組～

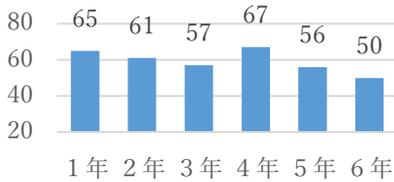
児童公開日【10月15日(水)】には、日頃よりお世話になっている地域の皆さまをご招待いたします。また、幼小連携を深めることを目的として、交流のある幼稚園や保育園の園児たちにもご来場いただく予定です。

## 前期学校評価の結果を踏まえて

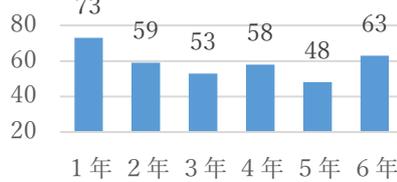
本校では、学校の教育活動に対する現状を把握することを目的として、全校児童および教職員を対象に「前期学校評価アンケート」を6月末に実施しました。このアンケートは、年度内に2回（前期・後期）実施し、教育活動や学校運営の現状や課題を明らかにすることで、よりよい学校づくりにつなげていくものです。前期の結果をもとに、後期に向けた改善や取組の見直しを進めてまいります。引き続き、児童一人ひとりが安心して学び、成長できる環境づくりに努めてまいります。

※質問形式 4択 [1 わかる 2 だいたいわかる 3 あまりわからない 4 わからない]  
4択 [1 あてはまる 2 ややあてはまる 3 ややあてはまらない 4 あてはまらない]  
【児童アンケート・学習編】 [1 わかる・あてはまる] と回答した児童の割合 (%) です。

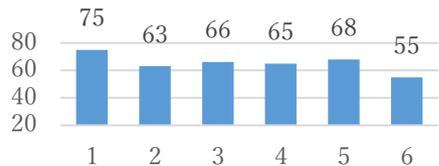
国語の勉強はわかりますか



算数の勉強はわかりますか



仲間と教え合ったり、聞き合ったりして学んでいますか



### 【国語】

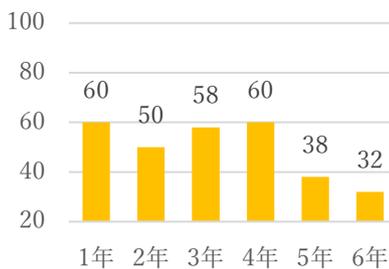
・「わかる」と「だいたいわかる」を合わせた回答は、低・中学年で90%、高学年は85%程度です。「あまりわからない」と「わからない」は、学年が上がると高くなる傾向が見られますので、一人一人の課題を把握し、個別支援を充実させていきます。

### 【算数】

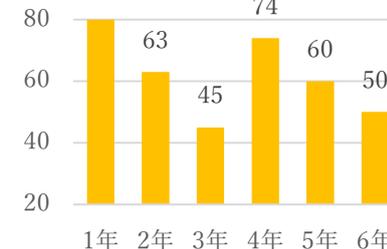
・「わかる」と「だいたいわかる」を合わせた回答は、低学年で90%、高学年は80%程度です。「あまりわからない」「わからない」が2割近い学年もありますので、低学年からの積み重ねを重視し、基礎・基本が確実に身につくよう指導してまいります。

【児童アンケート・生活編】 [1 あてはまる] と回答した児童の割合 (%) です。

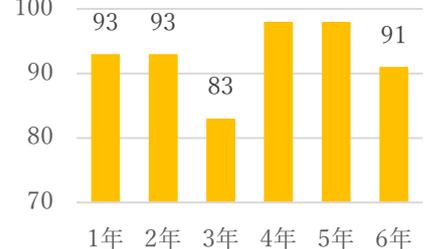
きまりをまもっていますか



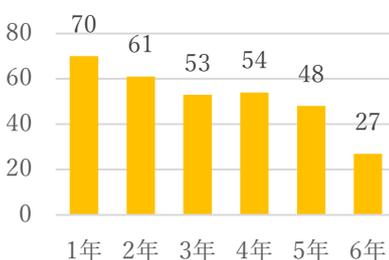
友達の良いところを見つけていますか



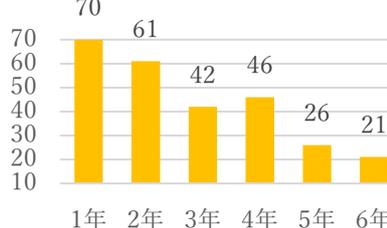
いじめはゆるされないことだと思いますか。



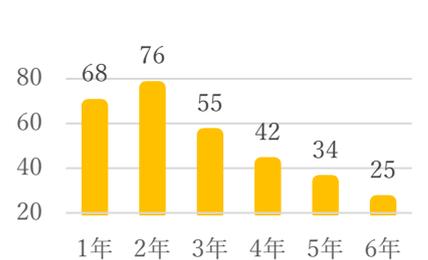
学校は楽しいですか



自分のよいところを見つけましたか



めあてを決めて運動していますか



### <生活編の分析>

- ・「きまりを守っている」の肯定回答は、「ややあてはまる」を含めると、どの学年もほぼ90%で多くの子どもがきまりを守っていると回答しています。
- ・「友達の良いところを見つけている」の肯定回答は、「ややあてはまる」を含めると、90%を超えており、MLAの取組の効果が現れているといえます。
- ・「いじめはゆるされないことだ」の回答が「ややあてはまる」も含めるとほとんどの学年で95%を超えています。引き続き、道徳やピア・サポート、学校行事などを中心に、いじめの根絶・命の大切さ・自己有用感等を高める指導を行い、「いじめはゆるされない」を100%にします。
- ・「めあてを決めて運動している」は学年により差が見られ、高学年ほど低い傾向が見られました。体育の授業だけでなく、児童会とも連携して、休み時間にも進んで身体を動かす機会を多くつくってまいります。

# MISONO



学校教育目標

- 学習する子
- 助け合う子
- やりぬく子
- たくましい子

第10号

～学び合い・支え合い・高め合い～ 令和7年12月24日 文責 尾見 秀樹

## 美園小6年生に聞いた…今年の漢字

校長 尾見 秀樹

令和7年も締めくくりの時期となりました。感染症の波が本校に押し寄せる前に2学期を終了できました。保護者の皆様、地域の皆様には、さまざまな教育活動に多大なるご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、今年の漢字には「熊」が選ばれました。全国各地で熊による被害が相次ぎ、市街地にまで出没するなど、人々の生活や経済活動に深刻な影響を及ぼしました。こうした出来事を通して、人と自然との共存について改めて考えるきっかけとなったことが、選定理由だそうです。それでは、自分自身の今年1年を漢字ひと文字で表すとしたら、どのような字が浮かぶでしょうか。美園小学校の「顔」ともいえる6年生にアンケートを取ってみました。

1位～楽(11票) …学校生活が上手いかないこともあったけど、友達とのかけがえのない楽しい学校生活ができたから。

…今年はずっとより楽しいことがいろいろあったから。

2位～熊(5票) …今年、熊の出没が多数発生しているから。

…家の近くのおやめ公園に熊が出たから。

3位～友(3票) …最近友達と遊んだり仲良くしてもらったから。

旅 …修学旅行が楽しかったから。

4位～嬉(2票) …推しのライブがあるから。

金 …物価が高くなってから。

震 …地震があったのと、クマが出て震えてるから。

努 …努力の積み重ねでできるようになったことが多いから。

その他～悪 …運がないから。

助 …先生や両親、友達にたくさん助けてもらったから。

自 …今年はリーダーとして動くことが多い気がして自分に自信を持てるようになったから。

挑 …今年は色々なことに挑めたと思うし、今後も色々な問題に挑戦していきたいから

労 …色々な事に挑戦したり試験に行ったりしたから。

夢 …今年は自分の夢に向かって進んでいく年になった。中学生になっても続く自分の夢を大事にしたいと思ったから。

その他にも色々な漢字が出ていました。前向きな思いや考えが多くて、ほっこりします。

本日24日(水)の終業式で子どもたちに3つのお願いをしました。

1 「自分の命は、自分で守る」

横断歩道を渡っていても、決して安全とは限りません。常に安全確認をしてください。冬は車は急に止まれません。遊ぶ場所も確認してください。屋根の雪、道路脇の雪山など危険だと思う場所には近づかないでください。

2 「自分から取り組む」

学習やお手伝いは、言われてから行うのではなく自分から取り組むこと。何に取り組むのかを自分で決めて行動してください。

3 「ああ、楽しかった」

3学期にみなさんと会うときには、「ああ、楽しかった。」という感想が聞きたいです。友達や家族、親戚など様々な人と関わりながら、遊んで、勉強して、学校では経験できないような時間を過ごし、思い出に残る冬休みにしてください。

子どもたちが健康かつ安全に冬休みが送れますよう、引き続き家庭や地域でのご支援とご協力をお願い申し上げます。



## 特例校制度の継続実施について

今年度から岩見沢市教育委員会が導入し、本校でも活用した「授業時数特例校制度」を次年度も継続する方向で検討を進めています。

本校では、全学年 35 時間の授業時数を生み出すことにより、重点的に進めているピア・サポートと課題である算数の基礎学力の定着のための時間として有効活用してきました。

児童や保護者によるアンケートの結果からピア・サポートを通して、「親和的な学級風土」の醸成が見られ、各学年のテストの結果からは、算数の基礎学力が着実に身に付いてきていることが確認できました。

このように、取組の成果が現れていることから次年度も、「美園小の強みを生かし、課題を改善する」取組を継続していきます。各教科の時数は減りましたが、ICT の効果的な活用や、教科横断的な学びを取り入れることにより、学習の効率化が図られています。今後も、未履修を発生させることなく、かつ子どもの負担とならないように学びの充実を図っていきます。

## いじめアンケート（2回目）の結果

10月末に、今年度2回目のいじめアンケートを実施し、校内で実態把握と改善に努めてきました。1回目（5月）と比較した表を掲載します。

項 目	5月（回答328名）		10月（回答332名）	
今年の4月から嫌な思いをしたことがある	112名	34.1%	133名	40.1%
今でも嫌な思いをしている	77名	23.4%	40名	12.0%
嫌なことがあったとき、誰にも相談しない	23名	7.0%	22名	6.6%
友達が嫌な思いをしているのを見たり聞いたりした	109名	33.2%	137名	41.3%
いじめはどんなことがあっても許されない	268名	81.7%	321名	96.7%

四月からの増加の累計

本校では、「いじめ見逃し0」の実現を目指し、「積極的ないじめ認知」に取り組んでいます。その結果、「嫌な思いをした」「友達が嫌な思いをしているのを見聞きした」と回答する児童の数は増加しています。一方で、ピア・サポートの取組を通して「支え合い、助け合う風土」の醸成を図るとともに、毎学期実施している「お話タイム」により、児童理解の充実に努めてきました。その成果として、5月と比較すると、「今でも嫌な思いをしている」と回答する児童は減少しています。また、いじめ防止に関する啓発活動を続けてきたことで、「いじめは許されない」という意識の高まりも見られます。

今後も、「考え、議論する道徳」や「ピア・サポート」の時間を大切に、他者への理解や自己有用感を育むことで、「いじめ0の学校」の実現を目指していきます。

# MISONO



第 1 1 号

## 学校教育目標

- 学習する子
- 助け合う子
- やりぬく子
- たくましい子

～学び合い・支え合い・高め合い～ 令和8年1月23日 文責 尾見 秀樹

## 3 学期残り登校日…6年生37日・5年生41日・4～1年生40日

午年を迎え、皆さまには健康と幸せが満ち溢れる一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。午年は、干支の中でも「前進」や「躍動」「力強い行動」を象徴する年とされています。馬は目的に向かって走り続ける生き物であり、その姿は挑戦を恐れず一歩を踏み出す大切さを教えてくれます。

本校におきましても、これまで1学期・2学期に積み重ねてきた学びや経験を大切に、児童一人一人が学び合い、支え合い、ともに高め合いながら「前進」「躍動」ができるように、教職員一同努めてまいります。

3学期が始まりました。冬休み中、大きな事件や事故に巻き込まれることなく、児童全員がそろって始業式を迎えることができ、大変うれしく思います。これもひとえに、保護者の皆様や地域の皆様の温かい見守りのおかげです。心より感謝申し上げます。

さて、始業式では、3学期の目標として下記の2つを取り組んでほしいと、児童にお話しさせていただきました。

### ① 次の学年に上がる準備の3学期

次の学年に上がる準備の3学期です。まとめの3学期です。

これは学び合いと高め合いです。わからないところがないようにしっかり学びあってください。そして、今のクラスのお友達と一緒にいられるのは、あと少しかもしれません。高め合いながら思い出に残る良いクラスにしてください。

### ② いじめのない安心、安全な3学期

いじめのない安心、安全な3学期にしてください。これは支え合いです。全員が大好きな美園小にしてください。

保護者や地域の皆様、今学期もご支援ご協力よろしくお願いたします。

## スキー用の築山造成に感謝

冬休み中に、丸庭・佐藤建設さんのご厚意で、グラウンドにスキー練習用の山を造っていただきました。今季は雪が少なくトラック40台ほどの雪を別の場所から搬入して造成していただきました。ご支援に感謝いたします。

また、使用直前に6年生がスキーで滑って圧雪作業をしてくださいました。その築山を使い、1・2年生がスキーの練習を頑張っています。



## 親学（ピア・サポート）のご案内

2月20日（金）の12時45分から30分程度、1～3年生参観日に併せて、低学年棟の2階音楽室において全保護者・地域の皆様を対象に今年度3回目の親学（保護者向けの学習会）を開催します。

当日は、担当から説明し、子ども達が行っている簡単な授業体験もしていただく予定です。堅苦しい話ではなく、誰でも気軽に参加できる内容を考えています。

ピア・サポートは「仲間同士が支えあえる関係づくり」が目的です。ぜひ多くの皆様にご参加いただき、ピア・サポートを知って、ご家庭や地域での人との関わり方に生かしていただければと思います。4～6年生の保護者も参加可能ですので、ぜひご参加ください。

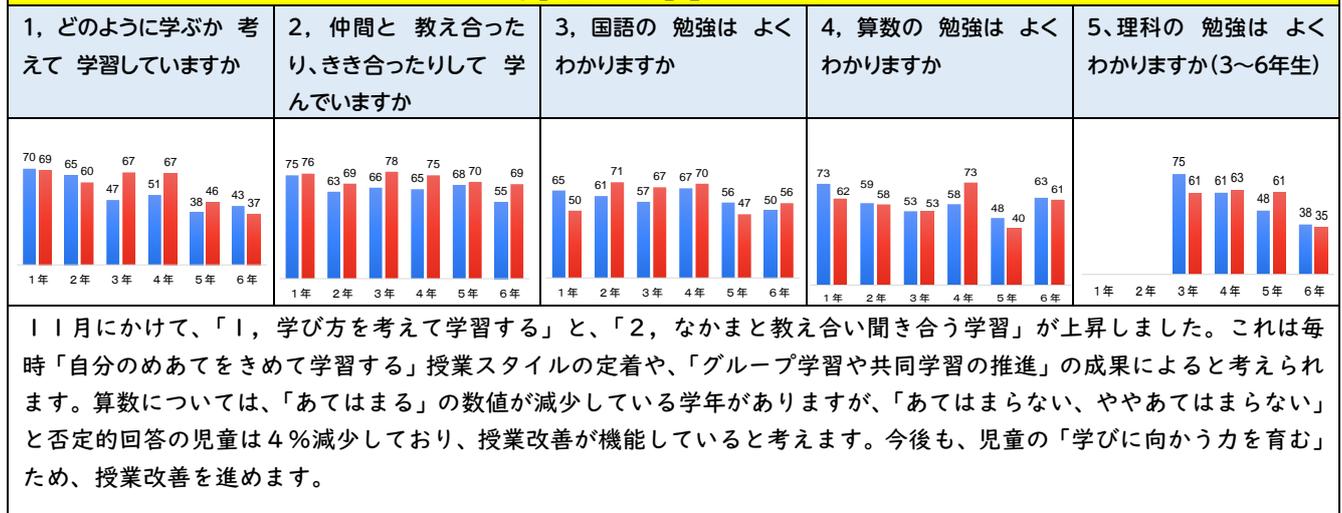
# 学校評価アンケート（数値）の結果

1月に実施した「学校評価アンケート」へのご協力、ありがとうございました。  
年2回行った児童アンケートとともに、結果をお知らせいたします。

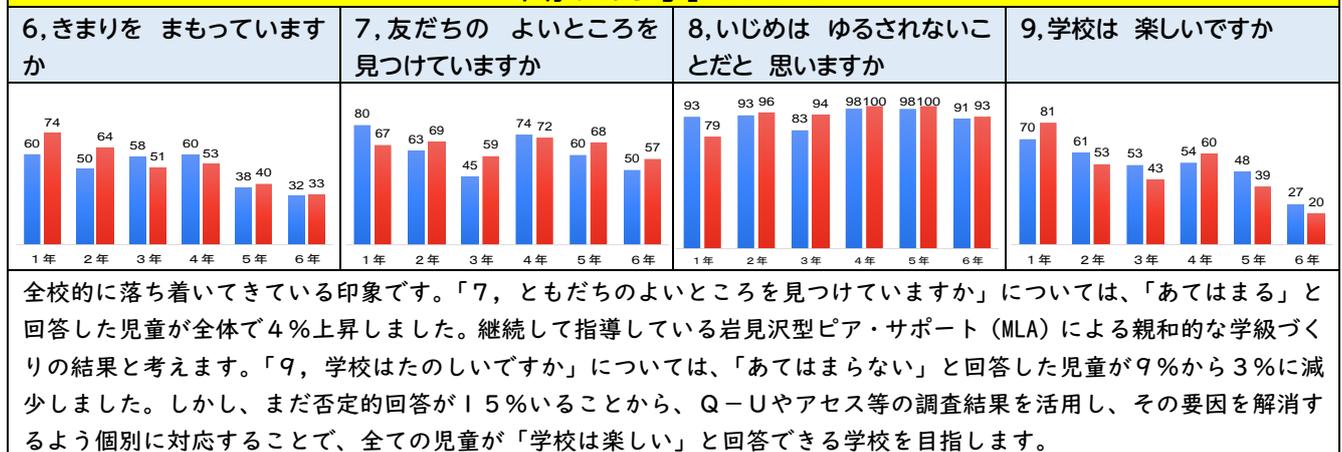
## 児童アンケート結果

児童アンケートは **6月** と **11月** の2回行い、その結果を学年ごとに比べました。ほとんどの項目で「あてはまる」や「ややあてはまる」と肯定的に回答した児童の割合が90%を越えているため、今回は「あてはまる」と回答した児童の割合のみをお知らせいたします。

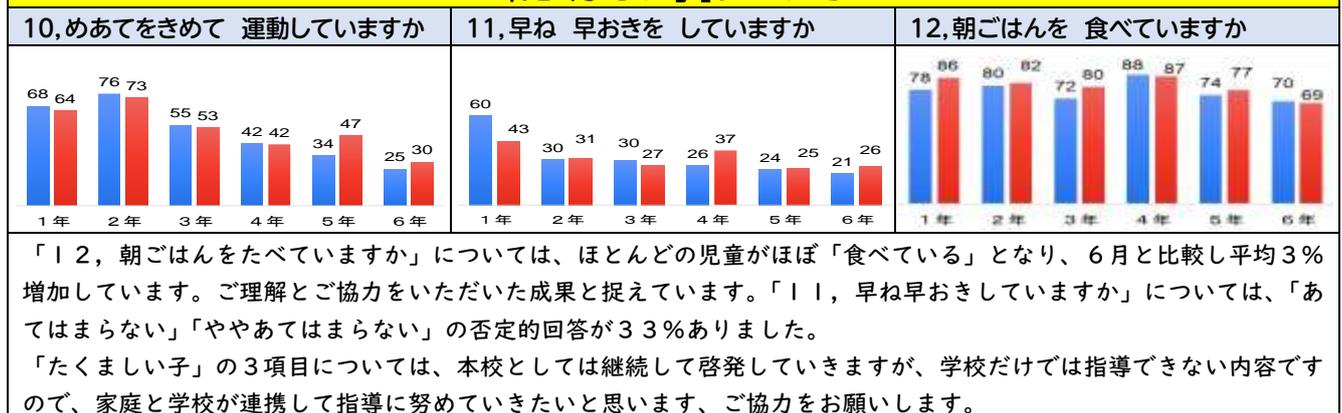
### 「学習する子」について



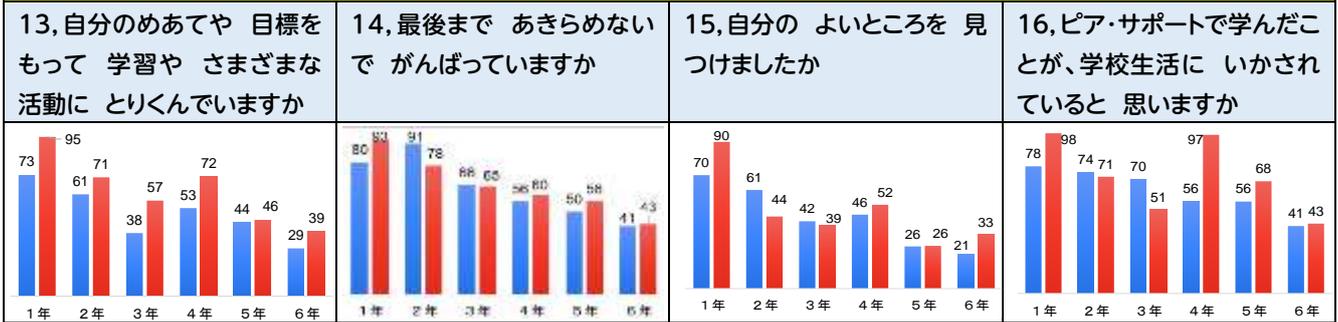
### 「助けあう子」について



### 「たくましい子」について



## 「やりぬく子」について



「13, 自分のめあてや目標をもって取り組む」は、「あてはまる」と回答した児童が全校平均で9%増加し、肯定的回答では95%となりました。「14, 最後まであきらめないでがんばる」とともに、毎時の授業や行事において、意図的に「ゴールを明確にさせてから取り組む」指導を継続した結果、意識が高まったと考えられます。「15, 自分にはよいところがある」については、まだ自信を持っていない児童が約40%おります。様々な活動において、一人ひとりが活躍できる場を設定したり、自分や友だちのよいところを見つけ、理解し合う活動を取り入れたりとすることで、子どもの自己肯定感を高める取組を継続します。

アンケートを通して、子ども達の成長を感じることができました。また、取組が十分ではなかった点については、3学期の取組で改善を図るとともに、次年度に向けた計画を立案していきます。

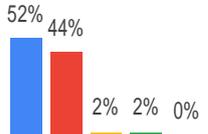
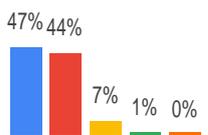
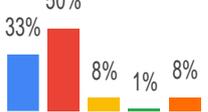
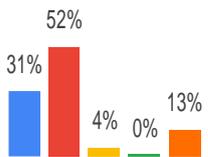
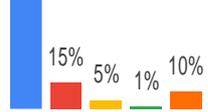
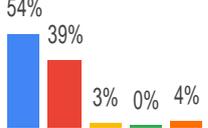
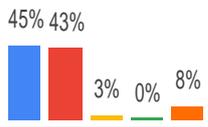
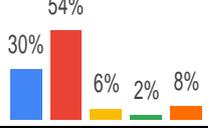
## 保護者アンケート結果（数値）

218名から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

回答は 5,あてはまる 4,ややあてはまる 3,ややあてはまらない 2,あてはまらない 1,わからない の5段階です。

学習する子について	1, 学校では、「仲間と教えあったり、聞きあったりする授業」を進めていますが、参観日の様子や、お子さんとの会話から、それらが伝わりましたか	
	7月参観日のアンケート結果において、「わからない」と回答された保護者が多かったことから、その後の参観日では本校で進めている「学び合う」授業を積極的に公開し、参観いただきました。今後も、子ども達が対話を通して学び合い、理解を深める授業を進めていきます。	
助け合う子について	2, 本校の教科担任制は、お子さんの学力や安心感の向上に有効だと思いますか	
	本校では、学級担任が隣の学級も指導する時間を設定する「一部教科担任制」を全学年で導入しています。これにより、複数の目で子どもを見守ることや、指導や評価の均等化を図ることができます。また、子どもが多く数の教員に触れることで、「いつでも」「どこでも」「だれにでも」相談できる安心感を提供できると考えています。今後も、全教員で子ども達を見守り、指導していきます。	
助け合う子について	3, お子さんは、元気なあいさつやありがとうが言えると思いますか	
	「美園の子は、よく挨拶してくれる」という嬉しい報告が届く反面、学校では自分から進んであいさつができる子は少ないのが現状です。今後も、挨拶の大切さについて啓発するとともに、児童会や委員会活動を中心とした挨拶を推進する活動を継続し、明るい挨拶が絶えない学校を目指します。	
	4, お子さんは、学校が楽しいと言っていますか	
助け合う子について	「あてはまらない」「ややあてはまらない」という否定的回答が18%おり、とても残念です。本校は「学び合い・支え合い・高め合い」を合い言葉に、確かな学力の向上と、安心、安全で思いやりある集団づくりを進めています。今後も学習や各活動において目標を設定することで、達成感を得る経験を促したり、ピア・サポートの活動を通して、自分の役割や居場所を自覚したりする取組を継続し、充実した学校生活を提供していきます。	
	5, 教職員は、お話しタイムや日常生活を通じ、子ども達とより良い関係づくりに努めていると思いますか	
	肯定的回答が93%と多くいますが、記述回答からは「担任には本音をあまり話せない」という子もいたことがわかりました。次年度も「お話しタイム」の取組を継続するとともに、「いつでも・どこでも・だれにでも」相談できる体制づくりを進めます。	

保護者アンケートの回答は、**5,あてはまる** **4,ややあてはまる** **3,ややあてはまらない** **2,あてはまらない** **1,わからない**の5段階です。

たくまし	<p>6, 早寝早起きなど生活時間について、お子さんと話をしていますか</p>	
	<p>ほとんどの家庭で、生活時間についてお子さんとお話している現状が伺えます。しかし、児童アンケートの結果からは、33%の児童が「早寝早起き」について否定的な回答をしており、大きな差があります。この項目は引き続き学校でも啓発しますが、家庭でのルールの徹底が重要です。今一度、お子さんの就寝時刻を確認いただき、睡眠時間の確保のため、ご指導をお願いします。</p>	
子につ	<p>7, 食事の大切さについて、お子さんと話をしていますか</p>	
	<p>児童アンケートでも91%の児童が「朝食を食べている」と回答しており、6月と比較しても増加しています。ご家庭で食の大切さについて指導いただき、ありがとうございます。学校でも、給食指導を通じ、「好き嫌いを減らし、バランス良く栄養をとること」「たくさん食べて十分な栄養量を確保すること」を継続して指導していきます。</p>	
やりぬく子について	<p>8, お子さんは、「自分には良いところがある」と感じていますか</p>	
	<p>17%が否定的あるいは「わからない」と回答しました。児童アンケート結果も同様の数値でした。学校でも、子どもの自己肯定感を高める取組を継続しますので、ご家庭でも、お子さんが「自分には良いところがある」と思うことができるような声かけに、ご協力をお願いします。</p>	
	<p>9, 学校は、「共に学び合い・支え合い・高め合おうとする学校風土」をつくろうとしています。それが感じられますか</p>	
	<p>「共に学び合い・支え合い・高め合おうとする学校風土」は、今年度の学校スローガンであり、さまざまな場面で保護者・児童にお伝えしてきました。結果として83%が肯定的回答であり、学校の取組が保護者の皆様にも伝わっていると捉えることができます。</p>	
	<p>10, 美園小がピア・サポート (MLA) に取り組んでいることを知っていますか</p>	
	<p>昨年度のアンケートでは、「わからない」が16%と、反省点が多かったため、学校便りや、学期に一回「親学」として、保護者や地域住民にピア・サポートプログラムを体験していただく機会を設けるなど、周知を図りました。今後も、取組内容が保護者に伝わるような機会を設定します。</p>	
	<p>11, 学校は、学校便りやホームページで必要な情報を提供していると思いますか</p>	
<p>今年度はホームページの更新をこまめに行い、子ども達の活動の様子を多く伝える内容を意識して記事をアップしました。今年度は12月末現在で、128件の記事をアップしており、一日平均120回ほどの閲覧があります。今後も必要な情報を伝えることができるよう努める。</p>		
<p>12, 学校は、保護者や地域と連携した教育活動を進めていると思いますか</p>		
<p>PTAや育成会が中心となり、保護者・地域人材が多くかかわって子ども達を育てている状況が見られます。今後も「地域とともに歩む学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を継続していきます。</p>		
<p>13, 美園小学校は、「子どもを通わせたい学校」だと思いますか</p>		
<p>肯定的回答は84%でしたが、「あてはまらない」「ややあてはまらない」という否定的回答も8%ありました。子どもが「通いたくなる学校」、子どもを「通わせたい学校」と思っていただけのように、学校の取組をお伝えしていきます。</p>		

## 学校評価アンケート（記述）への回答

今回のアンケートで、学校の教育活動をよりよくするためのアイデアについて、25件の御意見をいただきました。ありがとうございました。今後も、忌憚のないお考えをお聞かせいただき、参考にさせていただきながら、学校運営や教育活動の推進に努めてまいりたいと思います。なお、記載した文言は紙面の関係上、一部要約している箇所がございます。ご理解ください。

### 学びや運動に関わって

保護者から	学校として
<p>① ・授業中、友達に聞き合いながらやっているが、席を移動して仲良いグループでやる意味がわからない。わからない人同士で話していても、だんだん授業とは関係ない話になってうるさい。</p>	<p>①については、授業中に対話の時間を設けているのは、単に答えを教え合うためではなく、自分の考えを他者に説明することで、本人の理解がより深まる「教える側の学び」や、自分とは異なる解法や考え方に触れることで、多角的な思考力を養うことを目的としています。しかし、ご指摘いただいた問題点については、学習効果を損なう重大な課題であると認識しています。改めて全教員で指導法を確認し、全児童が安心して深く学べる環境づくりに努めてまいります。</p>
<p>② ・授業がわからない。ロイロノートで先生が問題を送ってくれても、答えがなく、答えややり方が合っているのかわからない。(特に算数は理解してません。家で一緒にやっていますが、学校のやり方でないとダメと言われたらしく、それならきちんと教えて欲しい。)</p> <p>・国語の漢字50問テストを抜き打ちでやるのが嫌だ。何のために抜き打ちにするのかわからない。</p>	<p>②については、お子さんが学習内容や方法について納得できるよう、教師の指導方法の改善が必要です。ロイロノートの課題やテスト等は、何のために行うのかを明確に説明するようしていきます。</p> <p>③については、不登校のお子様にとって「オンライン」が社会や学校との大切な接点になることは十分に認識しています。現在も取り組んでいますが、引き続き保護者と相談しながらオンライン授業配信等、お子さんにとって最適な方法で対応していきます。</p>
<p>③ 先生方が激務で大変なことは重々承知の上での要望なのですが、どうしても学校に行けない子供のためにオンライン授業を選択できるようなシステムを作って欲しいです。場所は自宅でも学校の別教室でも良いと思います。</p> <p>簡単に実現できることではないのかも知れませんが、不登校で苦しむ子供にも学ぶ機会を与えていただけますよう、是非ともよろしくお願い致します。</p>	<p>④の宿題については、学年や学習内容により必要に応じて出しています。家庭での学習は、「自ら学ぶ力」を育てるため、わからないことを自分で調べたり、学習内容を確実に身に付けるため予習や復習をしたりできるような家庭学習が理想です。希望者にはタブレットの貸出も行っており、インストールされたデジタルドリルの活用も有効です。「家庭学習の手引き」をご家庭に配布していますので、参考にしながら、お子さんに合った学習をご家庭でもご協力ください。</p>
<p>④ ・宿題を出してほしい（2件）</p>	

### 学校生活に関わって

保護者から	学校として
<p>⑤ ・生徒さんと登下校ですれ違う時、お互いに気持ちよく挨拶が出来たら良いなと思うことはあります。</p> <p>今の御時世、知らない大人と会話しない等々あると思いますが。</p> <p>挨拶だけでも地域の方々と出来たら、見守る目も増えて行くのではとは感じています</p>	<p>⑤については、学校でも児童会や生活委員会が中心となって「あいさつ運動」を進めています。地域からも「美園の子どもはあいさつがよくできている」という声もいただいています。気持ちのよいあいさつがさらに広がるよう、指導を継続していきます。</p>

<p>⑥ ・まれに帰りの会の終わりが遅くなり、帰宅が普段より遅くなる場合があります。可能な限り連絡欲しいです。</p>	<p>⑥については、本校としては指定された下校時刻を守るよう心がけるとともに、万が一大幅に下校時刻が遅れるような場合には、teturu等で連絡するようにいたします。</p>
<p>⑦ ・生徒が生徒を注意することが嫌だと子どもが言っています。注意する人も出来てないのに、他人の事ばかり言うのはどうかと思う。それを先生が注意しないのもどうかと思う。</p> <p>⑦ ・クラスがうるさく、お話しすることは悪くはないが、授業が始まって話をやめないことが嫌だと子どもが言っています。また、それに対して自分は静かにしているのに、その人達のせいで先生から怒られることが嫌だと言っています。</p>	<p>⑦については、教師の介入が十分でなかったり、他の児童への配慮が足りなかったりする場合があります。本校では、児童が主体的に問題解決に関わる「ピア・サポート」を重要視し指導しており、その中で子ども同士で声を掛け合うプログラムがあります。言葉の選び方や相手への伝え方、話し合う場面についてしっかりと学習し、全ての児童が納得できる、支持的で親和的な学校風土を醸成するよう、継続して指導に努めます。</p>

## 子どもの安心・安全に関わって

保護者から	学校として
<p>⑧ ・集団登校を指定する小学校をよく見かけますが、美園小学校は実施していないので、冬の登校は雪が多いので少し心配です。</p>	<p>⑧については、本校では実施については現在考えておりません。荒天等により登校が心配な場合については、保護者の判断で自宅待機とし、学校への連絡をお願いいたします。なお、学校が「登校が危険」と判断した場合には、朝7時までにメール等でお知らせします。</p>
<p>⑨ ・SNSトラブルについて今一度指導して頂けると嬉しいです。</p>	<p>⑨については、全校で継続して指導しています。高学年では外部講師を招聘した学習会も行っています。各SNSは年齢制限があり、LINE（12歳以上推奨）以外のX、インスタ、TikTokは（13歳以上）となっています。ご家庭で閲覧や投稿する際は、必ず保護者の同意が必要となります。お子さんがSNSを利用しているご家庭では、フィルタリングをかけるとともに、使用方法や家庭の</p>
<p>⑩ ・参観日に駐車場に車を停める際、高学年玄関前を誘導に従って最徐行していましたが、玄関から飛び出してくる子がおり、ぶつかる寸前でした。誘導の先生もいましたが、大変危険でした。参観日にグラウンドを駐車場にする必要は大いにあると思いますし、そうならないと困りますが、その際は車が通るところを児童が横断できないようにするか、車の導線を変えるか、または、旗などを使って子どもにわかりやすいようにしっかりと誘導するなどをしないと事故が起こると感じました。検討をお願いします。</p>	<p>⑩については、全校で継続して指導しています。高学年では外部講師を招聘した学習会も行っています。各SNSは年齢制限があり、LINE（12歳以上推奨）以外のX、インスタ、TikTokは（13歳以上）となっています。ご家庭で閲覧や投稿する際は、必ず保護者の同意が必要となります。お子さんがSNSを利用しているご家庭では、フィルタリングをかけるとともに、使用方法や家庭のルールについて、お子さんとしっかりと確認をお願いいたします。今後も家庭と連携しながら、学校でも引き続き指導していきます。</p> <p>⑩については、大変申し訳ありませんでした。学校の構造上、グラウンドを駐車場とする際は、車の通路がどうしても高学年玄関の出入りと交差します。事故が起きないように、学校としても最大限注意を払いますが、保護者の皆様にも危険箇所のご理解をお願いいたします。</p>
<p>⑪ ・環境整備、環境美化を推進し、「こだわり清掃タイム」などを設け、子供たちがより校舎に愛着を持てるような取り組みがあると良いと思います。</p> <p>・トイレが綺麗にならないかと思っています。</p>	<p>⑪については、毎学期末に「清掃週間」を設定し、担当箇所を徹底して清掃する期間を設け対応しています。また、今年度はPTAにもトイレ清掃を依頼し、薬剤による清掃にご協力いただきました。古い校舎ですが、今後も一層工夫しながら児童が「愛着の持てる校舎」となるよう、きれいに使用していきます。</p>

## 保護者との連携に関わって

保護者から	学校として
<p>・去年は学校便りがteturuで配信されて、とても良かったのですが、今年から配信されなくなったのはなぜでしょうか？ スマホに配信されるとすごく便利で見やすいのでぜひまた配信してほしいです。</p> <p>・学級、学年通信もテトルみたいに、ネットでアップして欲しいです。</p> <p>⑭</p> <p>・賞を取った子供の活躍だけでなく、授業や委員会、諸活動でのがんばりを今以上に発信し、子供の自己肯定感の向上、保護者の教育活動への関心の向上を目指すと良いと思います。</p>	<p>⑭については、学校便り及び学年通信に児童の活躍を紹介するための氏名や写真を掲載していることから、個人情報保護の観点でデータ配信をしていませんが、行事予定については、teturuで配信できるよう準備を進めています。掲載内容については、学校の様子をより多く伝えることができるよう、「美園小学校CS」のホームページで補足するとともに、受賞以外の子どものがんばりについても、学校便りでお知らせしていますのでご覧ください。</p>
<p>・お話タイムや保護者面談の複数回の実施などは、日常業務だけでも常にお忙しい先生方の、大変なご負担であろうと推察致します。それだけに、非常に恐縮ではあるのですが、可能であれば、今後も引き続き実施して頂けると、大変有り難く存じます。</p> <p>⑮</p> <p>・参観日について、2学年ごとや、低高学年でわけての参観だと、仕事の都合上、休みや早退を頻繁にとるのが難しかったので、全学年まとめてしていただける日をもっとあれば、1日で済むのでありがたいかと、下の子が入学してから特に感じました。</p>	<p>⑮については、本校では「お話タイム」と「保護者面談」を、子どもを理解し、家庭と情報共有を図る重要な時間とおさえています。次年度も同様に実施し、相互理解のもと、子どもの健全な発育を促していきます。参観日については、懇談会に参加しやすいよう、低・中・高学年に分散して設定していますのでご理解ください。</p>
<p>⑯</p> <p>ここ数年休職される先生がいると聞きました。もしかすると過剰な要求などの対応によるものかと推測しています。先生方を守るためにも、北海道条例にもあるように、学校の「カスタマーハラスメントへの対応指針」を早急に作成する必要があると思います。過度な要求に対する先生方の心の安全対策は、結果的に子供たちを守ることにもつながると思います。</p>	<p>⑯については、ご心配いただきありがとうございます。今後も「子どもファースト」を合い言葉に、家庭と相互理解できるように努めます。なお、R7年度は本校に対する保護者からの苦情はありませんでした。ご理解、ありがとうございました。</p>

## 学校行事に関わって

保護者から	学校として
<p>・夏休み初日に行われた職場体験や親も携われる行事があれば学校を通して子供と接する機会を増やせると良いと思います。また先生と親との交流も出来たりすると思います。子供はみんなで育てるのが一番良いと個人的には思っています。</p> <p>⑰</p> <p>・中央小の様に、地域と連携したお祭りを開催出来ないか考えてみて欲しい。また、色んなお仕事があることを知ってもらう為に、色んな職業の方々からのお話を子供達が聞ける会を開催して欲しい。</p> <p>・運動会、学習発表会や、親子レクなど、子供と触れ合う時間はもっと長くてもいいと思う。</p>	<p>⑰については、7月開催の「みそのジョブズ」に多くの児童及び保護者に参加いただきましたが、より多くの参加を募るためアナウンスに努めます。今後も地域の皆様の協力とともに、PTAとの連携も必要なことから、保護者の皆様にもご協力をお願いします。各学校行事の内容や時間については、総合的に判断し、決定していきます。</p>

次年度も、本校の取組が子ども達の成長につながっているか判断するため、児童及び保護者の皆さまへのアンケートを実施し、検証・改善を図っていきます。ご協力をよろしくお願いいたします。